

全国初

全車両の防犯カメラのリアルタイム化が完了します。

～ 令和6年度（2024年度）末までに全車両に設置 ～

無人運転の車両では全国初

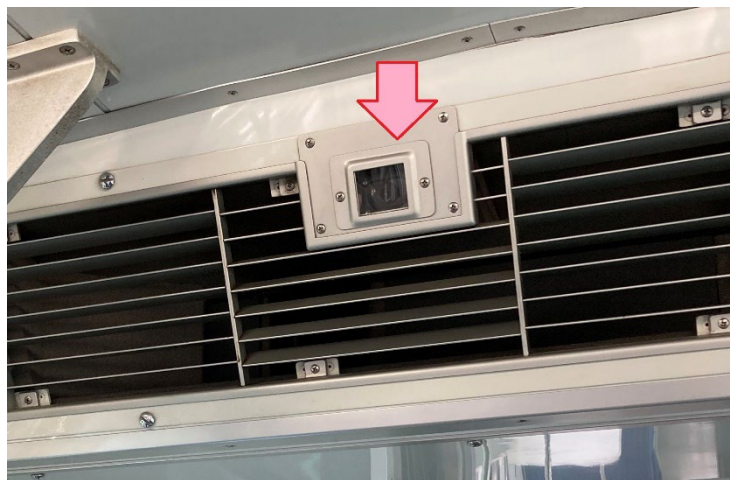
株式会社横浜シーサイドライン（本社：神奈川県横浜市、社長：猪俣 宏幸）では、今年度（令和6年度〔2024年度〕）末までに、シーサイドラインの全ての車両（90両）へ、通信機能を備え、運行を管理している司令区など地上側でリアルタイムに車両内の状況を確認できる、新たな防犯カメラの設置が完了いたします。

シーサイドラインで運行している2000型車両には、運行を開始した平成23年（2011年）より、犯罪の予防効果の向上を図るため、車両内を撮影する録画式の防犯カメラを全ての車両に設置しておりましたが、令和4年度（2022年度）から着手している同カメラの更新を機に、無人運転の車両では全国で初となる防犯カメラのリアルタイム化を順次進めており、令和6年度（2024年度）末に完了いたします。【令和6年（2024年）6月時点の進捗率：50%】

これにより、犯罪・迷惑行為の抑止を図るだけでなく、異常時などの際に、係員のいない車両内の状況把握がより迅速に行えるようになり、一層の安全性向上が図れることとなります。



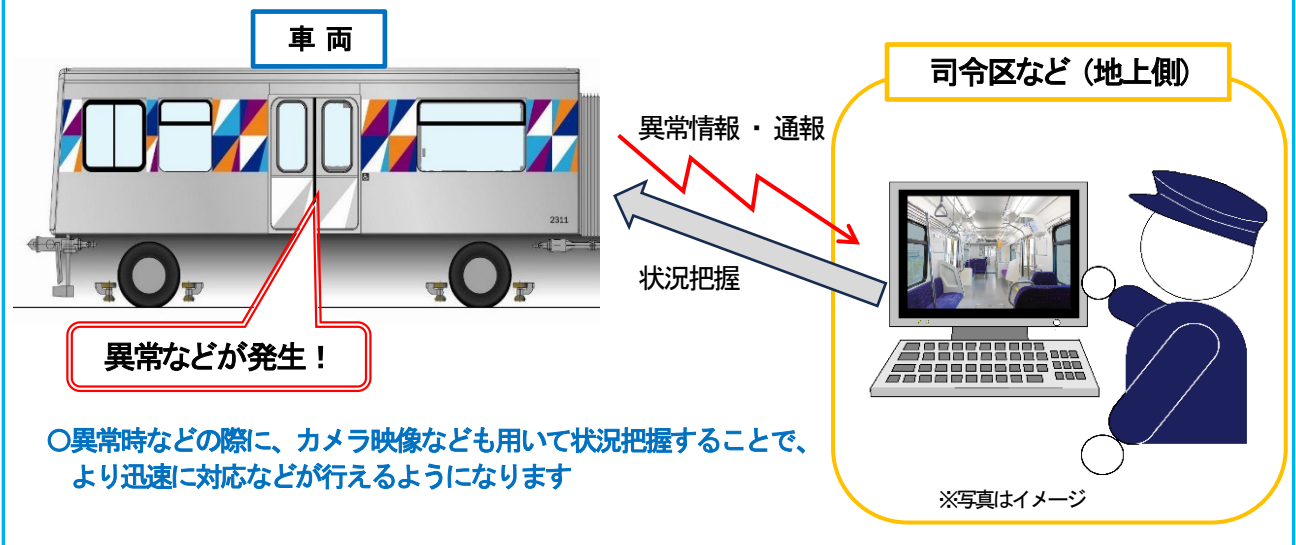
↑ 車内に設置されている防犯カメラ
（赤印の箇所に設置）



↑ 設置されている防犯カメラ

裏面あり

○車両防犯カメラのリアルタイム化のイメージ



なお、取得した防犯カメラ映像については、お客様のプライバシー保護のため、関係法令や社内規程などに基づき厳正に取り扱っております。

当社では、引き続きお客さまが安全に、安心してご利用いただける環境整備に努めてまいります。

お問い合わせ先

技術部 車両課長 原茂 幹大 TEL 045-787-7010

本件は、横浜市政記者クラブ、横浜経済記者クラブへ同時発表しています。